

気候変動に対応した 花壇づくり講習会（蒔田の森公園）

実施概要

【概 要】

名 称：気候変動に対応した花壇づくり講習会

日 時：①令和7年（2025年）6月2日（月） 午後2時半～4時半

②令和7年（2025年）7月4日（金） 午後2時半～4時半

会 場：横浜市南区蒔田町154-1 蒔田の森公園

講 師：永江晴子

趣 旨：公園愛護会活動において、温暖化の進展により夏場の花壇を美しく保つことが年々難しくなり、また水やり等の負担も大きくなってきている。その課題を克服すべく、専門家を講師に迎え、多年草を活用した花壇づくりの講習会を実施した。

内 容：2回に分けて講習会を開催。

第1回は実際に多年草を植え付ける作業を中心に、6月2日に実施した。品種選び、配置デザイン、植え付けの仕方、水やりの仕方、植え付け後1か月間のメンテナンスのポイントなどを説明した。

第2回は7月4日に開催。夏以降の多年草メンテナンス全般についてと、公園内の他の花壇について講師が植栽をチェックし、改善提案を行った。

参加人数：6月2日は蒔田の森公園愛護会員10数名を含む、南区の公園愛護会会員約80名が参加した。

7月4日は蒔田の森公園愛護会員5名を含む、南区の公園愛護会会員約25名が参加した。



第1回講習会（植え付け） 主な内容

○日時：6月2日 14：30～16：30

○多年草花壇の基礎知識

- ・多年草花壇のメリット・・・計画的に植えると一年中花が楽しめる。
植え替えの手間がなくなる。水やりの頻度が減る。

○土壌改良

- ・砂地に近い土質だったので、はまっ子ユーキと、水持ちをよくするために赤玉土、鶏糞ベースの元肥を混ぜ込んだ。

○植物選びのポイント

- ・カレンダーを作って、花や葉の見ごろ時期などが一覧で分かるようにし、一年中花の切れ目がないように植物を選ぶとよい。今回は冬も寂しくならないように、常緑性の植物を半分入れた。
- ・花色はブルーと元気な印象の黄色、反対色の組み合わせを中心に選んだ。
- ・葉の色も大事で、ブロンズ、グレー、ライムグリーンなどで変化を付けた。

○植えた植物

- ・クリーピングタイム（5株）：横に広がり常緑のグラウンドカバーになる。分類上は低木。
- ・クジャクアスター（2株）：秋に開花する。背が高くなるが、線が細いので視界は遮らない。
- ・ユーフォルビア ウルフェニー（3株）：常緑で3月に開花し、明るい黄色の花をつけて春を知らせてくれるのが魅力。葉色も美しい。
- ・アリウム ミレニアム（5株）：ニラやネギの仲間。夏に花が咲く品種を選んだ。
- ・サルビア ネモローサ カラドンナ（4株）：丈夫で、花期が長い。
- ・オミナエシ（2株）：秋の七草のひとつ。6月下旬に黄色い花を咲かせ、花がらの黄色があせずに秋まで残る。
- ・ヘレボラス・オリエンタリス（5株）：クリスマスローズの仲間です。育てやすいレンテンローズ。
- ・スティパ テヌイッシマ（エンゼルヘアー）を2株、カラミンサ1株も一緒に植え付けた。
- ・一年草のブルーサルビアと、赤いサルビアも彩りとして加えた。

○植え付け

- ・植えた後に、手で土をきれいにならして凹凸をなくし、浅植え・深植えになっていないかもチェックする。凹凸をなくすことで、水が均等にしみこみ、見栄えもよくなる。

○水やり

- ・株元にしっかりやることが大切である。
- ・水たまりができるまで水やりをするのが目安。どのくらいの深さまで水がしみているか、土を掘り起こしてみるとよい。
- ・一年草は、特に水を必要とする。夏場は1週間に2回の水やりが必要になることもある。
- ・水やりのタイミングは植物によって異なる。葉が萎れたものにあげるとよい。
- ・水やりは朝でも夕でもよいが、夕方だと植物が徒長しがちなので、朝の方がよい。

○今後の作業

- ・花がら摘み：初年度は株を育てることが優先なので、花がらは摘み取る。
2年目以降は、花がらを残してシードヘッドを楽しむのも良い。
- ・宿根草の肥料：基本は年2回。春先は成長のための栄養補給として施す。冬は寒くても根は活動しているので寒肥を施す。

第2回講習会 (メンテナンス & ゾーニング) 主な内容

○実施日時：7月4日（金）14：30～16：00

○植え付けて1か月になる花壇を観察した。

- ・サルビア（一年草・宿根草）、オミナエシ、カラミンサが開花しており、ほかの花も順調に生育していることを皆で確認した。

○メンテナンスのコツ

- ・花がら摘み：一年草のサルビアは、次の開花を促すために花がらを摘む。咲き終わった枝の枝元でカットする。
宿根草のサルビア・カラドンナは、植え付け1年目は夏を乗り切るために花がらを落とした。
- ・切り戻し：新しい花壇は切り戻しが必要な株は無く、エントランス近くのサルビア・ガラニチカで切り戻しを実演した。高さを調整する切り戻しと、風通しをよくする枝抜きをした。切り戻したところから新芽が伸びるので、その後の株姿を想像しながら切る場所を選ぶとよい。
- ・初期除草：除草鎌を使って根から掘り取る。
- ・株分けは11月～2月が適期、移植・植え付けは11月～1月が適期となる。
- ・スプリングカットバック：落葉性の宿根草は春の芽吹きを促すため、1～3月の適期に地際で切り戻す。
- ・水やりは根張りを促すため、回数は少なくても、あげる時は水たまりができるまでたっぷりとやる。

○公園内のほかの花壇について環境と植栽をチェックし、講師が提案を行った。

- ・植物は、それぞれに生育に適した環境が異なるので、植える場所の環境を理解して、適した植物を植える。植物は本来の生育力を発揮して、より健康に育ち、手間がかかりにくくなる。
- ・入口近くの花壇：砂地に近い土質なので、赤玉土やたい肥を混ぜ込み土壌改良するか、乾燥に強い植物を植えるとよい。
- ・公園の奥、向かって右手の木陰下エリア：3か所に分かれているヒメヒオウギズイセン（クロコスミア）は、花をより目立たせるために1か所にまとめると、草刈もしやすくなる。
- ・公園の奥、向かって左手のタイサンボクの下：公園奥の入り口近くのウェルカム花壇。
冬に一年草で華やかにする、現状の使い方でのよいのではないかな。

記録写真

< 2025年4月22日 >



一年草の小さな花壇を4～5年前から世話しているが、暑さでダメになることも多く、多年草花壇を作りたいと要望が出た。



通りからもよく見える芝地に、3～4平米の多年草花壇を木枠で囲って新たに作ることにした。

< 2025年6月2日 >



南土木事務所が区内の愛護会に希望者を募ったところ、約80名の参加者が集まった。



講師・永江さんの作った図面に従って苗を配置。それぞれの植物の特徴や、株間の取り方などを学んだ。



蒔田町公園愛護会のメンバー10人で約30ポットの苗を植え付けた。



公園清掃を中心に担っているメンバーに対して、苗の植え付け方などを基本から丁寧に伝えた。

記録写真

< 2025年6月2日続き >



多年草を植え付け後に、一年草のサルビアで華やかさを足す。参加者が意見を出し合って位置を決めた。



苗をポットから出したときに根が回っていたら、底の部分を少しだけほぐしてから植えた。



植え付け後に、はまっこユーキでマルチングをした。



水やりをたっぷり時間をかけて行い、作業を終了した。



多年草を主体に、一年草のサルビアも加わり、華やかさのある花壇になった。



コスモスのタネが蒔かれた他の花壇にも、多年草の苗（ユーフォルビア・サルビア・ペンステモン）を植え付けた。

記録写真

< 2025年7月4日 >



蒔田の森公園愛護会のメンバーに加え、同じ南区の愛護会の皆さんがこの日も参加した。



丁寧な土づくりと、はまっ子ユーキのマルチング効果もあって、雑草は少なかった。



植え付けから1か月、オミナエシがぐんぐん伸びて開花した。



夏咲きのアリウムがつぼみを付けていた。



既存のサルビア・ガラニチカで切り戻しの実習を行った。



公園内の他の場所の草花についても、適地適草の観点から講師がアドバイスをおこなった。

記録写真

< 2025年7月4日（つづき） >



公園入口の他の花壇は、土の水はけがよすぎるので乾燥に強い植物だけを集めてドライガーデンにするか、土壌改良を行うのがよいと、講師がアドバイスした。



一年草と違い、数年かけてステキに育ててゆく多年草の花壇。愛護会の参加者から、考え方を変えて取り組みたいとの声が上がった。

<6月2日配布>

①

多年草って？

多年草は、一度根づけば毎年、花を咲かせる植物です。

常緑タイプと、冬に地上部が枯れても根が生き続け、春にまた芽吹く落葉タイプ（宿根草）があります。



常緑タイプ



落葉タイプ

多年草を取り入れると、 どんなイイことがあるの？

四季の変化を楽しめます

多年草を組み合わせると、季節ごとに多彩な葉や花が花壇を彩り、シードヘッドや枯れ姿まで自然の移ろいを楽しめます。



ローメンテナンスな庭に！

植え替えの手間が少なく、水やりや肥料も控えめで育ちます。初年度は除草が必要ですが、根づけば手間も減っていきます。



長～く楽しめます

一年草に比べ、環境への適応力や再生力に優れています。蒸れや病気で弱っても、切り戻すことで回復し、長く育てられます。



多年草はこう育てよう！

しっかり根を張らせる土づくり

まずは、ふかふかの土をつくりましょう。花壇を深さ20cmほど掘り、腐葉土を1㎡あたり40ℓ混ぜ込むと、土が柔らかくなり、水はけと水もちがともに良くなります。元肥として固形有機質肥料を混ぜ込みましょう。



株間を広めに植え付けよう



多年草は、年々育ち、大株になります。どのくらいの大きさに育つのかラベルなどで予め把握し、十分なスペースを確保して植え付けましょう。ゆったりした株間で大株に育てると、根がよく張り、夏に乾燥が続いても水を吸い上げられます。

水やり控えめで根張りを促す

植え付け直後はたっぷりと水やりをします。そのあと週1回ペースで十分に水やり。1か月たったなら水やりは控えめに。根も張ってくるので、植物がしおれたしたら水を与えるくらいの方が、根が水を求めてしっかりとした株に育ちます。



気楽に長くつき合おう





同じ品種でも日当たりや風通しの違いで成長に差が出ることがあります。切り戻しや植え替えなど工夫しながら環境に合わせるのも楽しみのひとつ。失敗も次の年の種となり、手をかけた分だけ愛着が深まります。植物とともに学び、自分自身の成長も楽しみましょう。

③



♥日なたの花壇 モデルプラン♥

- ◎一年を通して楽しむために、花や葉の見頃がずれるように選びましょう。
- ◎風に揺れるすらりとした植物を加えると草原のような自然な雰囲気になります。
- ◎落葉性と常緑性のバランスも考えましょう。

 開花  葉やシードヘッドの鑑賞期間

多年草	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
カラミンサ												
サルビア ネモローサ カラドンナ												
ペンステモン ハスカーレッド												
ガウラ												
バブティシア												
ユーパトリウム												
ユーフォルビア ウルフェニー												
ベルシカリヤ												
アガパンサス												
フロックス												

一年草	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ビオラ												
スーパーアリッサム												

オススメの多年草 日なた



カラミンサ
他の宿根草とも組み合わせやすい。花期が長く、清涼感のある香りも楽しめる。



**サルビア ネモローサ
カラドンナ**
縦に伸びる立ち姿。黒褐色の茎と濃い青紫の花のコントラストが目を引く。



**ペンステモン
ハスカーレッド**
風に揺れる自然な景観に。暑さ寒さにも強く育てやすい。銅葉でカラーリーフとしても活躍。



ガウラ
生育旺盛で、切り戻しに強く、初夏から秋にかけて長く花を楽しむ。



バブティシア
耐寒性・耐暑性に優れ、乾燥にも、病害虫にも強く丈夫。



ユーパトリウム
細かく切れ込みのある葉、奥がかったような花。冬枯れの姿も美しい。



**ユーフォルビア
ウルフェニー**
春に咲く個性的な花。特徴的な形のブルーグレーのリーフが一年を通して楽しめる。



ベルシカリヤ
花期が長く、花後のシードヘッドも美しい。花の少ない秋を花壇で活躍する。



アガパンサス
まっすぐ伸びた茎と、球状に咲く花の形で庭にメリハリが出る。病害虫にも強く丈夫。



フロックス
草姿が柔らかく、花色も豊富で耐暑性が強く、花持ちもよく長く咲き続ける。



♡ 半日陰の花壇 モデルプラン ♡

- ◎ジメジメしているのか、乾燥しているのか、環境に合わせて種類を選びましょう。
 ◎暗くなりがちな空間には、花や葉の色がワントーン明るいものを取り入れましょう。
 ◎シルバーリーフや斑入りの葉を加えると明るい雰囲気になります。

🌸 開花 🌿 葉やシードヘッドの鑑賞期間

多年草	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
クジャクアスター												
ミヤコワスレ												
イカリソウ												
シュウメイギク												
ブルネラ ジャックフロスト												
ホスタ												
アスチルベ												
カレックス オーレア												
アジュガ												
ツワブキ												

一年草	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
インパチェンス												
コリウス												

🌿 オススメの多年草 半日陰 🌸



クジャクアスター
 夏の終わりと秋にかけて
 麗らかな花を多数咲かせ、花
 後の姿も美しく、庭に彩りを
 添える。



ミヤコワスレ
 上品な色彩で可憐な花は、他
 の種物にも馴染みやすい。半
 日陰でもよく育ち、乾燥にも
 強い。



イカリソウ
 早春にいち早く花を咲かせ
 る。季節ごとに葉色の変化も
 楽しめる。



シュウメイギク
 春から秋にかけて美しい葉、
 秋には風になびく花。花色の
 バリエーションも豊富。



**ブルネラ
ジャックフロスト**
 葉脈が美しいシルバーリー
 フで、早春に可憐な青い花
 を咲かせる。



ホスタ
 草丈、花や葉のサイズ・色な
 ど、多彩なバリエーションが
 ある。グランドカバーとして
 も活躍。



アスチルベ
 春から夏は繊細な葉、初夏に
 は装飾的な花。秋には紅葉
 し、シードヘッドも楽しめる。



**カレックス
オーレア**
 黄色みがかった葉色が特徴。
 日陰の庭を明るい印象に。常
 緑性なので冬も地上部が残
 る。



アジュガ
 耐陰性のある常緑多年草
 で、紫がかった艶のある葉も
 美しい。グランドカバーにも
 なる。



ツワブキ
 常緑で、花の少ない冬に黄
 色い花を咲かせる。日本から
 中国、朝鮮半島原産で育て
 やすい。



⑥

蒔田の森公園花壇植栽 観賞時期

計 26pt (うち常緑 13pt) ⇨

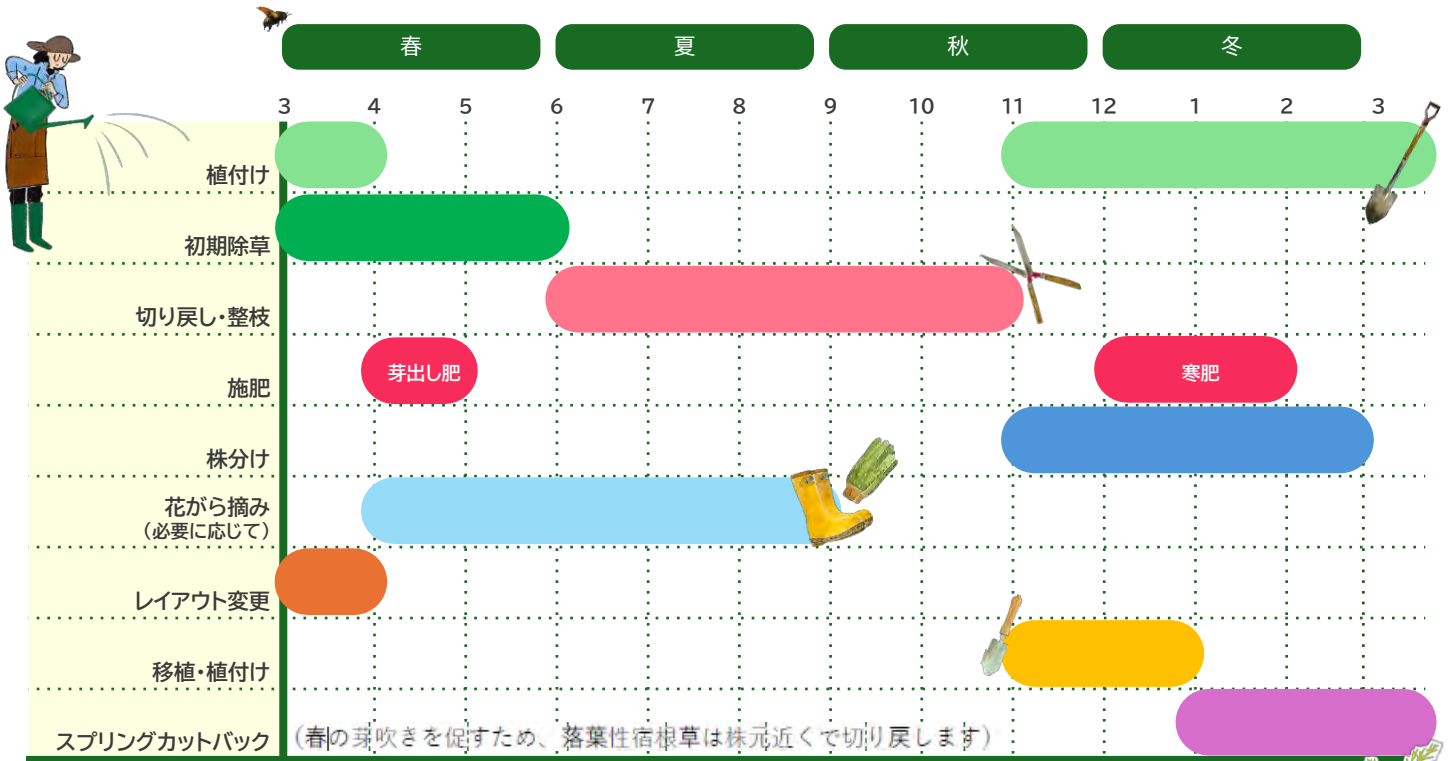
開花 葉やシードヘッドの鑑賞期間

番号	記号	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
1	H	ヘレボラス オリエンタリス													5pt 常緑
2	E	ユーフォルビア ウルフェニー													3pt 常緑
3	T	(移植) クリーピングタイム													5pt 常緑
4	AS	クジャクアスター (白花細弁)													2pt
5	S	サルビア ネモローサ カラドンナ													4pt
6	P	オミナエシ													2pt
7	A	アリウム ミレニアム													5pt

⑦宿根草花壇・管理スケジュール

1 宿根草の1年間

蒔田の森公園



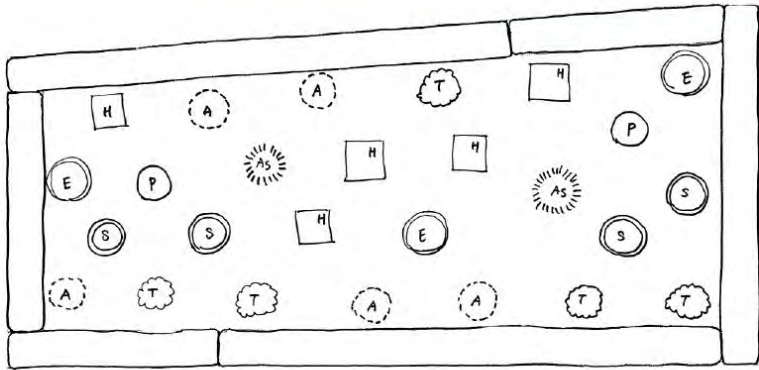
- ☑ 落葉性宿根草を想定した管理スケジュールです。
- ☑ 植付けは11-2月までに完了すると、春以降の生育がスムーズになります。遅くとも4月までには完了させましょう。
- ☑ 施肥は鶏糞ベースのNPK等量の有機質固形肥料を株元に一握り。春と冬に1回ずつ行います。
- ☑ 灌水は植え付け直後はしっかりと。1カ月間は週1回ペース。それ以降は葉がしおれ始める頃にしっかりと灌水を行いましょう。
- ☑ レイアウト変更を開花中もしくは花芽が上がっている株で行う場合は、地上部を約半分カットして行います。作業後はしっかりと灌水しましょう(その後の灌水方法は上記と同様)



⑧植栽平面図 & 宿根草の紹介

2 宿根草の紹介

蒔田の森公園



data
科名▶ キンボウゲ科 分類▶ 常緑宿根草
花色や花型(一重/八重)が豊富で病害虫も少なく、日当たりの良い花壇でも半日陰の花壇でもよく育つ。花の少ない早春に花壇を彩る。



data
科名▶ シソ科 分類▶ 常緑低木

地面を這うように広がり、グラウンドカバープランツとして使われる。蜜源植物でチョウやハナバチが訪れる。梅雨時期の蒸れに注意。



data
科名▶ キク科 分類▶ 落葉宿根草

繊細な白い花弁が特徴。無数の花を咲かせる姿は花壇に霧がかかったような演出に。病害虫も少なく、耐寒・耐暑性に優れる。



data
科名▶ トウダイグサ科 分類▶ 常緑宿根草

耐暑性に優れたユーフォルビア。花の少ない早春に変わった花を無数に付け、常緑の葉は冬の花壇の骨格になる。



data
科名▶ ユリ科 分類▶ 落葉宿根草

淡桃紫色の小さなネギ坊主のような花を真夏に咲かせる。耐暑性に優れ、切り戻しの作業も少なく株分けも容易。蜜源植物で、チョウやハナバチが訪花。



data
科名▶ シソ科 分類▶ 落葉宿根草

サルビアの仲間である咲くタイプ。花後にこまめに花がらを摘むと繰り返し開花する。蝶やハナバチの訪花を観察することができる。



data
科名▶ スイカズラ科 分類▶ 落葉宿根草

6月から開花し、開花後の花の色の退色が少なく、鑑賞期間が長い。在来植物のため日本の環境で良く育つ。

<7月4日配布>

①切り戻しのポイント

宿根草は

生育タイプによって強弱を!

生育のスピードや
株の茂り方に適した切り戻しで、
風通しをよくして蒸れを防ぎます。



株全体の上部1/4
~1/2を切り込み、
さらに全体の2割の
葉を地際で切って
株をすくす。

宿根草に
蒸れは大敵。
人にも心地よい
風通しを目指して



このタイプの宿根草



カラミンサ



ガウラ



アガスターシェ



ルドベキア

強い切り戻し

生育が早く、
株が密生するタイプ

株のそばに手や顔を近づけたと
き、ムツと湿度を感じたら風通し
の悪い証拠。カラミンサやガウラ
のように、生育旺盛で茂るタイプ
は思いきった切り戻しをします。

花の直下の
葉の上で
切り戻す。



トウテイランやオミナエシのよ
うに、生育がゆっくりで株が茂ら
ないタイプは、花を1週間ほど葉
しんだら軽い切り戻しをします。
2年目以降の株なら、切り戻しは
必須の作業ではありません。

弱い切り戻し

生育がゆるやか、
株が茂らないタイプ

このタイプの宿根草



ガイラルディア



オミナエシ



トウテイラン

②さらに生育が遅かったり調子の悪い植物は
花がらや開花前の葉を摘むことで、植えて1年目
の夏に向けて株の体力を蓄存してもよいでしょう。

メンテナナンスの肝! 切り戻しのポイント

4月に植えて多くが花盛りを迎えた宿根草、5月に
植えてまだ小さい株もある一年草。花後の大事なメン
テナナンス「切り戻し」、それぞれのポイントはココ!

※本資料は「趣味の園芸」テキスト2024年6月号94ページから転載したものです。
無断での複製はお控えください。

②ゾーニング検討資料

蒔田の森公園

